

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	中尾 (中尾)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	25.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.5 ha
② 田の面積	14.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	11.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域の主な作物は水田地帯は主食用及び飼料用の水稲が中心であり、本圃の排水不良や施設の老朽化が課題となっており、畑地帯ではハウス施設が整備されかんきつ類が栽培されているが、遊休化が進んでいる。地区内に後継者がいる農家は4戸、将来農家数の見込みは12戸で、すべての農家が現状維持又は規模縮小の意向のため、特に基盤整備済の農地については、担い手確保が課題となっている。有害鳥獣被害対策として防護柵を設置しているが、地区内に捕獲免許を持つ者がいなくなり、今後の被害拡大が憂慮される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稲や柑橘等の生産は、現在の方式により現在の耕作者で行い農地を維持していくが、担い手の確保については今後課題となる。企業参入など外部からの耕作希望は相談があれば地区で一体となって話し合っていきたい。農業基盤の維持のため、多面的機能支払事業の取組を継続していきたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	27	%	将来の目標とする集積率
			27 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組 当面は現在の耕作者が担い手として中心となり、地区内の農地を管理していく。 外部からの参入希望があれば、現在の担い手との農地集積を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方法 現時点では地区としての活用方針は定めず、活用は各個人の検討・判断とするが、将来的に農地の集積、集約を進める時が来たら積極的に活用する。
(3)基盤整備事業への取組 水田地帯は基盤整備済であり、未実施の畑に関しては改良コストの面から基盤整備は考えていないが、適切な維持管理を行うため多面的機能支払事業に継続して取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組 後継者の確保は、現在の農業情勢を考えると農家ごとの判断となる。 法人(企業)や他地域からの参入は、県や市から情報を得ながら、良い条件であればマッチングの検討はしていきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 現在のところ農家個々で耕作ができており、受託する組織もないことから、活用予定はない

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①ワイヤーメッシュや電気柵器は、設置箇所における個人ごとの管理を継続しながら、駆除員の確保による捕獲の強化を今後の課題として話し合っていく。
⑦河川や水路の土砂がすぐに堆積し、河川は年1回程度対応してもらっているが適時適切な対応がないと災害の心配があるため、今後については検討が必要。
⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、改めて協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、区内回覧等で変更案の内容周知と意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農			3.2 ha	0 ha		2.9 ha	0 ha	1	
認農			3.6 ha	0 ha		2.7 ha	0 ha	2	
利用者		水稻 野菜	2.6 ha	0 ha	水稻 野菜	2 ha	0 ha	3	
利用者		野菜	1.4 ha	0 ha	野菜	1.4 ha	0 ha	4	
利用者		水稻 果樹	2.1 ha	0 ha	水稻 果樹	1.3 ha	0 ha	5	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.8 ha	0 ha	6	
利用者		水稻	0.1 ha	0 ha	水稻	1.9 ha	0 ha	7	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	8	
利用者			0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	9	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	10	
利用者			0 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	11	
利用者		果樹	0.7 ha	0 ha	果樹	0.7 ha	0 ha	12	
利用者		水稻	0 ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	13	
利用者			0.7 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	14	
計			15.3 ha	0 ha		15.2 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。